

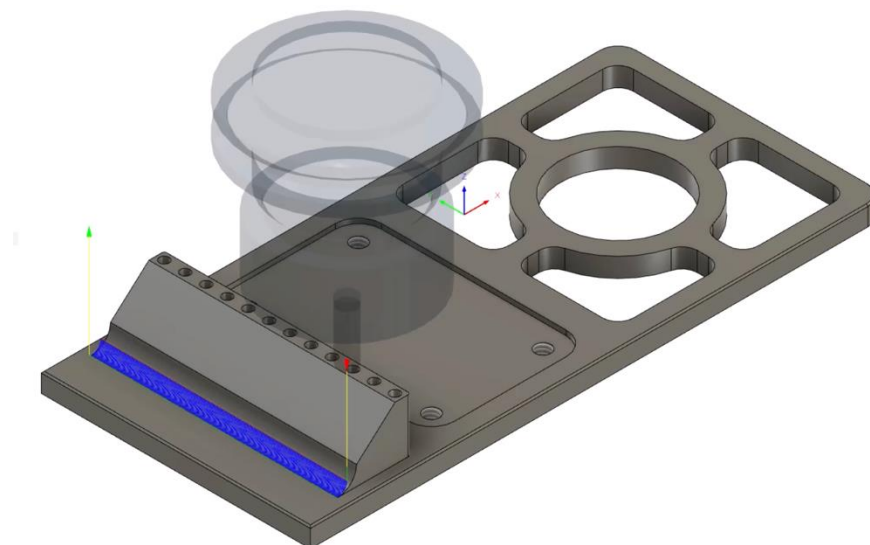
ステップバイステップ ガイド

等高線と曲面に対してフロー ツールパスを適用する

フロー ツールパスは、フリーフォーム形状のパーツ上の曲面を仕上げる場合に便利です。このツールパスは3軸加工に適しており、多軸加工セットアップで動作するように設定することもできます。

学習の目的:

- フロー ツールパスの一般的な用途を特定します。
- フロー操作を適用して、パーツ上の個別のカットフィーチャを終了します。



完成図

1. Phone Stand Base M5.f3d ファイルで続けます。
ツールバーの[3D]ドロップダウンメニューから[フロー]を選択します。

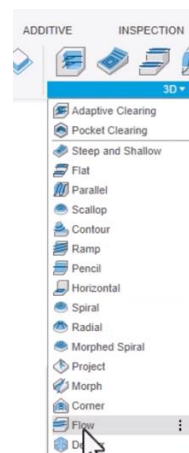


図 1. 選択したフロー

2. [フロー]ダイアログで[選択]をクリックし、工具を選択します。この例では、6 mm ボール エンドミルを使用します。

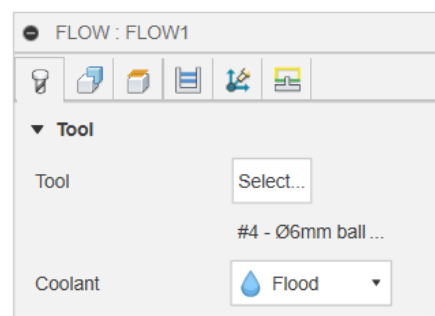


図 2. 選択をクリックしてツールを選択します

3. [ジオメトリ]タブで、カットするサーフェスを選択します。これが携帯電話のベースのカーブになります。



図 3. コピーするサーフェスを選択します

- ステップオーバーには、選択したフィーチャ上に作成される線状パスの数を決定するため、この工程に対する重要なパラメータが含まれます。ステップオーバーを 0.025 mm などのように小さな値にすると、オーバーラップする切削が多くなるため時間が無駄になり、3 mm などのように大きな値にすると、求めている滑らかさや表面仕上げが得られないほどの粗いパスが作成されてしまいます。90 秒の操作のステップオーバー設定には 0.25 mm を使用します。

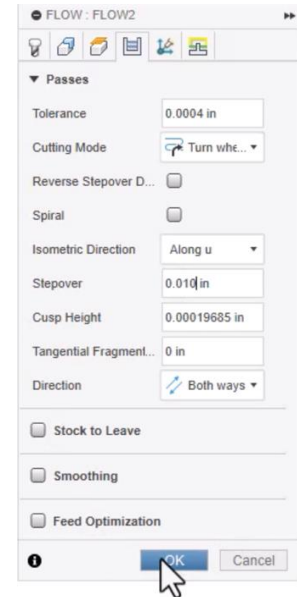


図 4. ステップオーバーを .010 インチに設定

- フィーチャ同士が平行に近い場合、エンドミルが進入し、進入して近接サーフェスを掘り出す傾向があります。シミュレーションのエッジを拡大して、これが起こっているかどうかを確認することができます。



図 5. サーフェス周囲のエッジをチェック

- [マシンを使用してシミュレート]ツールをクリックします。



図 6. [マシンを使用してシミュレート]ツール

7. プロセスのシミュレーションを表示します。必要な調整を行います。ファイルを保存します。

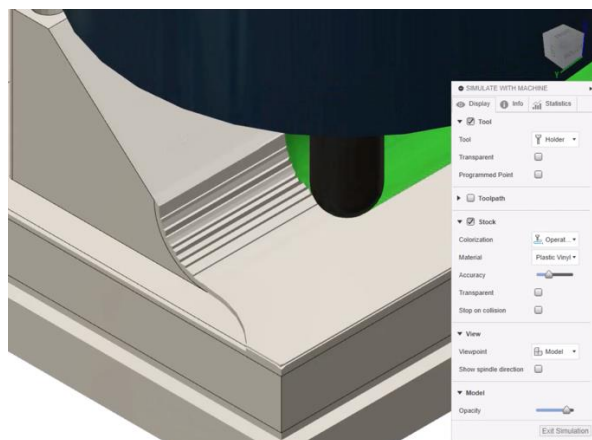


図 7. シミュレーション